

修正意見等への対応表【第2部会】

↓ ページ番号は、【資料 22】基本計画(第 2 部会修正案)(2・3・6 章抜粋)における該当ページを示す

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
2-1	現状と課題	P1	1	「豊かな自然環境や生物多様性は、」に、「確保と保全」を加えてほしい。	修正	ご意見を踏まえ記載を修正
			2	「地球温暖化問題」を「地球温暖化防止」に変更	修正	ご意見を踏まえ記載を修正
			3	清掃工場について、維持管理なのか、建替えなのか	—	ごみ処理広域化の目途が立つまでは、適切な維持管理に努め、ごみ処理を行っていく必要があります。
	(その他)	P1 P2	4	町は生物多様性の良いデータを持っているので、そのことをどこかに入れていただきたい。	個別計画 で対応	生物多様性ガイドラインに記載
			5	太陽光発電の規制など、再生可能エネルギーのことを丁寧に。燃料電池などはどこかに入れられないか。	個別計画 で対応	環境基本計画など、個別計画の改定時に対応を検討
			6	森林環境譲与税は、税源としてどれほどの効果が見込まれるのか	—	本年度の森林環境譲与税の収入は 180 万円程度を見込む。単年度の収入ではまとまった森林整備を行うには足りないため、当面は積立を行い、一定額がたまった時点で活用を予定。
			7	水の文化園の考えを生かすことが時代にもマッチするのでは	原文維持	2-1 の記載（水辺環境・地下水の保全、河川などを自然と親しみふれあう空間として活用等）に包含
	① 自然環境の保全・活用	P2	8	地下水保全の表現が後退しているのではないかと？ 地下水保全をもっと強く打ち出してほしい	修正	水辺環境と地下水保全に関する記載を修正
			9	生物多様性の保全を踏まえ、「多様な主体」等の中に、「事業者」の文言を入れられないか	修正	多様な主体の例示表現として、「ボランティアや事業者など」を追加
			10	現状も散策・レク・学習などに活用しているとは記載しているが、環境整備にかかわることか、自然とふれ合える住民活動の支援等のキーワードが入らないか	原文維持	2-1-④（みどりを多様な主体により保全する取組）、2-1-③（ボランティア団体への支援）などの記載に包含
			11	・豊かな水を守るため、河川と森林について定期的な調査が必要では ・河川、地下水や周辺環境に悪影響があるような施設（産廃施設）ができないよう追記できないか	原文維持	今後の個別計画・施策の参考とさせていただきます。施設の規制・指導等については、関係法令に基づき、府等と連携しながら適切に対応してまいります。

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
2-1	① 自然環境の保全・活用	P2	12	(修正案) 森林や河川などの豊かな自然環境を素材と捉え、散策やレクリエーション、環境体験学習など、自然に親しみふれあう空間として活用します。	修正	ご意見を参考に、記載を一部修正
			13	遊休農地活用の文言を入れてはどうか	他項目で対応	6-1 で遊休農地活用等の記載を追加
	② 環境負荷の軽減	P2	14	公共施設や企業だけではなく、一般家庭に対する記述がない	修正	家庭でできる対策についての記載を追加
	③ 環境教育・啓発の推進	P2	15	・子どもの学習を重視 ・項目名に「学習」追加 ・クロスカリキュラムの要素追加 ・学習を指導する人材育成も重要	修正	幼少期からの子どもへの環境教育、指導人材の育成に関する記載を追加
			16	「市民農園」のキーワード追加	他項目で対応	6-1 でファミリー農園等の記載を追加
			17	「食品ロスの軽減」、「賞味期限、消費期限の正しい理解」などを入れてほしい。児童、生徒に対しての教育だけではなく大人に対する啓発も重要。	修正	食品ロスに関する記載を追加
	④ ごみの減量・安定処理	P2	18	・「ゼロウェイスト宣言」のような分別の徹底ができないか ・ごみ排出量の累積量や一人当たり排出量がリアルタイムに発信できないか	原文維持	今後の個別計画・施策の参考とさせていただきます。分別種類を多くすることはリサイクル率の向上等に影響しますが、住民への負担にもなるため、慎重に検討する必要があります。また、排出量等の発信は、現状でリアルタイムに取りまとめることは困難と考えます。
			19	「資源化率」の定義の記載がほしい。本町における現在の率と他市町村との比較などを踏まえ、目標値を定めることを目指してほしい。	原文維持	「資源化率」(リサイクル率)は、ごみ総排出量に含まれる資源化量(古紙・鉄・アルミ等が中間処理後に再生利用される量、集団回収の量などの合計)。他市町村との比較は、資源化率を向上させるための施策検討の際に必要なと考えており、注視してまいります。なお、リサイクル率については、個別計画(一般廃棄物処理基本計画、環境基本計画)で既に数値目標を設定しており、進捗管理を行いながら施策を進めているところです。

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
2-1	⑤環境衛生・美化の推進	P2	20	不法投棄の記述があるが、河川、地下水、生物に悪影響もあるので、それを追記すべきでは	原文維持	自然や住環境等に影響があるため監視等を行っているものですが、基本計画では総合的な記載としています。
			21	(修正案) 住民の生活環境の保持及び動物愛護意識の高揚のため、ペット飼育のマナー向上に向けた取組や、 <u>野生化したペットや野生動物への餌やり禁止</u> 、所有者不明猫対策を進めます。	修正	記載を一部修正（「など」を追加） 野生動物等への餌やりについては、ホームページ等で注意喚起を行っています。
2-2	①計画的な土地利用の推進	P5	22	「都市計画マスタープラン」に基づきと記載しているが、どちらが上位か分かりやすく書いてほしい。	原文維持	序論において総合計画の最上位の位置付けを示しており、基本計画記載の関連計画は、すべて下位計画となります。
			23	「生産緑地」は出てくるが、「ファミリー農園」も記載できないか	他項目で対応	6-1 でファミリー農園等の記載を追加
			24	グリーンインフラの用語	個別計画で対応	都市計画マスタープランの改定時等に検討
			25	(修正案) J R 島本駅西地区においては、土地区画整理事業により、まちな顔となる玄関口にふさわしい良質な地域となるよう、まちづくりを推進します。	修正	ご意見を参考に記載を一部修正
			26	「コンパクトな都市構造の形成」についてもっと記載できないか	個別計画で対応	基本計画では現状の表現とし、都市計画マスタープラン等の個別計画において詳細な記載を検討
	②良好な住環境の形成	P5	27	「開発行為等」の記載が分かりにくい。もう少し具体的に	修正	分かりやすく記載を修正 開発指導は、一定規模以上の開発行為を行う前に、駐車場の設置、ごみ収集場の設置、公園の最小面積など、周辺と調和した良好な住環境の形成等を目的として協議を行うもの。
			28	防災や周囲環境悪化の観点だけではなく、空間・土地の有効活用の観点から、空家防止対策を考えていく必要がある。	修正	現状と課題に「空家の利活用」表現を追加。具体的な対策については、現在策定中の「空家等対策計画」で検討。
			29	本町の特長、地域性(樹種等)を生かした、といったキーワードの盛り込み	原文維持	基本計画では現状の表現とします。 緑化の実施に際しては、地域性や維持管理等を総合的に検討。
	③景観形成・緑化の推進	P5	30	景観条例、高さ規制について	個別計画で対応	景観に係る詳細については、都市計画マスタープラン等の改定時に検討。総合計画策定後、都市計画マスタープランの改定や景観計画の策定などの取組を積極的に進めてまいります。

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
2-2	③景観形成・緑化の推進	P5	31	(記載の追加案) ●良好な住宅環境を図るために、森林に近接する宅地開発は抑制し、既存の住宅地においては、森林との間に緩衝地帯（バッファゾーン）を設けるなどして、両者の環境の保全に努めます。	原文維持	個人の財産権にも影響を及ぼす内容であり、個別計画の改定・策定時に議論すべき内容と考えます。
			32	四次総計の実施状況資料について「景観形成作物」とは何か	—	レンゲ、コスモス、ヒマワリなど、遊休農地などで栽培し、美しい景観形成に資する植物を指しています。
	関連計画	P5	33	「緑の基本計画」は記載しないのか？	原文維持	同計画は目標年次を H30 年としており、現時点で改定を予定していないため、関連する個別計画に記載していません。今後については、他市町村の動向等を踏まえ検討してまいります。
2-3	(その他)	P6 P7	34	道路・河川・公園等の有効活用について、戦術的にどうしていくかについて書いてはどうか。	他項目で対応	7-1-③でインフラを含む公共施設の適正管理について記載
	①交通環境づくり	P7	35	路線バスの運行について、事業者との調整を適宜行うなどの表現はできないか	原文維持	関係機関との連携については、2-3-①に包含。町としては地域の利便性向上に向けた要望を過去から行っており、今後も必要に応じ、適宜協議等を行ってまいります。
	②計画的な道路整備	P7	36	・道路整備に子どもの視点が抜けているのでは ・通学路の安全性についての記述を追加してほしい	原文維持	・通学路の安全確保については 3-3 に記載 ・子どもを含む道路の安全確保等については、原文の「歩行者・自転車利用者に配慮した道路整備」の表現に包含
			37	・今後 10 年の目標として、計画的な道路整備について入れるべきではないか ・計画的な道路の改修の中で、う回路についても考えてほしい。都市計画道路を含め、町の計画的な道路管理について、何かキーワードを入れられれば。	修正	計画的な道路整備についての記載を整理
			38	西国街道の一部は一方通行化などをした方がよい。交通状況が変わってきている場所については信号の新設などが必要。	原文維持	一方通行規制は公安委員会の所管ですが、地域の合意形成などを考慮すると実現は困難と聞き及んでいます。一時的な混雑が発生する交差点等については、これまで対策をしたうえで検証し、都度対応しているところです。

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
2-3	③公園の整備・維持管理	P7	39	公園面積を増やすという積極的記述があってもよいのでは	原文維持	現在の「整備」の表現は、老朽化した公園の更新等のほか、開発等に伴う新規整備の要素も包含。参考指標においても、将来の公園面積を増加方向としています。
			40	「遊具の定期点検」とあるが、遊具のスクラップも必要ではないか	—	遊具の撤去も含め、地域特性に合わせた公園づくりが必要であると考えております。
2-4	④計画的な施設の維持管理	P9	41	耐震対策以外に、水道施設の浸水対策、非常時の自家発電などについて	修正	防災対策に関する記載を追加
			42	上下水道の耐震化について「危険度に応じた耐震化」の文言	原文維持	水道管路耐震化の優先順位については、管種・布設年度等から評価する物理的評価と、管路が受け持つ重要性の評価等から多角的に評価分析し、計画に基づき計画的に更新を行っています。 「危険度に応じた耐震化」については、耐震化を行わなくても年数経過により管は老朽化し、布設替えが必要となることから、費用対効果を考えると耐震管により布設替えしていくことが望ましいと考えています。
			43	専門性をもった職員の採用や養成についての記載を	他項目で対応	町の人材育成等については、7-1-⑤において総括的に記載
3-1	現状と課題	P10	44	(修正案) ～ハード・ソフトの両面から、防災・減災への取組を関係者と連携して、 <u>想定外被害の発生防止を進める</u> ことが必要です。 (停電によるインフラの停止、例えばポンプアップ機能が停止、多量の雨水が雨水管や排水路から溢れる被害など)	原文維持	現在の表現（突発的な集中豪雨、台風の大規模化）に、想定外の災害についての表現を包含
	②防災力の強化	P11	45	多チャンネルでの情報発信の表記は、情報機器等の使えない高齢者に対応していない。	修正	多様な手法での情報発信について、広報車の追加など、記載を修正
			46	避難行動要支援者への支援には自主防以外に民生委員などもかかわっている。	修正	「地域の支援機関」の例示表現として、「自主防災会・自治会・社会福祉協議会・民生委員児童委員などの」を追加
47			避難所のクオリティ(バリアフリー、空調など)について盛り込めないか	修正	避難所の環境整備についての記載を追加	

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
3-1	関連計画	P12	48	3-1-④にも雨水幹線等について記載しており、2-4 に記載している計画をこちらにも記載すべきでは	修正	関連する個別計画等に公共下水道事業計画を追加
3-2	③ 救急救助体制の充実	P14	49	AED について記載すべき	修正	AED についての記載を追加
3-3	現状と課題	P15	50	スマホのながら運転について入れてほしい	原文維持	「ながら運転」も「危険運転」の表現に包含
	② 防犯対策の推進	P16	51	通学路の防犯カメラ設置をもっと進めないのか。「設置への支援」の表現がわかりにくい。	修正	「防犯カメラ設置への支援」→「防犯カメラの設置」に修正
			52	子ども 110 番の家について入れてほしい	修正	地域と連携した防犯活動に関する記載を整理。(子どもの安全については、5-1-⑥にも記載)
6-1	① 商工業の振興	P18	53	企業誘致について、メリットを示す方策が必要。スタートアップなどのキーワード追加できないか	原文維持	今後の個別施策の参考とさせていただきます。(スタートアップ等の個別対応策については、「創業者への支援」の表現に包含)
	② 都市農業・林業の振興	P18	54	ファミリー農園について記載してはどうか	修正	遊休農地活用、ファミリー農園についての記載を追加
			55	防災、地下水かん養、文化など、農地の多面的な機能について入れてはどうか	他項目で対応	2-1、2-2 でも記載
			56	有害鳥獣対策→有害鳥獣被害防止対策に修正を	修正	ご意見を踏まえ表現を修正
			57	水路など農業用施設も重要	修正	農業用施設についての記載を追加
			58	(修正案) 大阪府や企業、ボランティアとの連携により、森林の保全整備を進めるとともに、林産物の P R や流通のしくみ作りに努めます。	修正	P R だけでなく、「活用」の視点も追加して表現を修正
	参考指標	P18	59	参考指標にファミリー農園利用者を入れてはどうか	修正	参考指標に「ファミリー農園利用区画数」を追加
6-2	② 文化財の保護と調査研究	P20	60	今年大沢山林火災が発生した際、極楽寺の重要なもの(本尊なども)も避難した。文化財は、常に盗難、水害、火災などの危機にさらされている。	—	今後の施策の参考とさせていただきます。
	③ 歴史文化遺産を活用した地域づくり	P20	61	ふるさとの歴史に関する教育も重要なので入れてほしい	修正	子どもたちへの教育に関する記載を追加

節	項目	頁	No.	意見要旨	対応方針	
6-3	現状と課題	P21	62	サントリーだけでなく、尺代漁協（アマゴ・ます釣り場）も入れてほしい	修正	水無瀬川などの自然、歴史文化遺産などのスポットについての表現を追加
	① 観光・にぎわい	P22	63	・にぎわいづくりに取り組む団体への支援（事業や打合せの際の施設減免など活動の場の確保支援できないか） ・町の後援でそうした支援ができないか？	原文維持	ご意見として伺い、今後の個別施策の参考とさせていただきます。
			64	名水サミットがあり、各地巡回で行われている。6-2 又は 6-3 で、離宮の水というものがあることでもあるし、町ブランドの一層の宣伝と、水と緑の島本というアイデンティティもあるので、「名水サミットに参加して町 PR」という、町外への攻めの姿勢を入れてはどうか。	原文維持	今後の個別施策の参考とさせていただきます。